

葉泳会通信 第3号

発行：千葉大学葉泳会

責任者：理事長 森田恒世

今年も西千葉プールで総会を開催

～ 8月17日（土）は西千葉プールへ～

平成14年度の葉泳会総会は、8月17日（土）に西千葉プールで開催される葉泳会戦にあわせ、プールサイドで行うことにいたしました。開始時間については、出きるだけ多くの方の出席をいただくことを旨に役員会で検討し、葉泳会戦後（午後4時頃）としました。

従来の開始時間ですと、総会の後に葉泳会戦（後半）、水球と続き、懇親会まで間が空くため途中で帰宅する方もおられましたが、葉泳会戦と懇親会の間に総会を行うことにより、時間を有効に活用でき、葉泳会戦から懇親会まで”水”のようにスムーズに流れるようになります。

なお、懇親会は昨年と同様、午後5時から西千葉キャンパス内のカフェテリアで行われます。葉泳会戦だけ出席、懇親会だけ出席という方も、総会への出席をお願いします。

< 葉泳会戦次第 >

○前半（13:00～）

- 200mメドレーリレー
- 200m個人メドレー
- 100m自由形
- 100m背泳ぎ
- 100mバタフライ
- 100m平泳ぎ

○後半（14:30～）

- 400m個人メドレー
- 50m自由形
- 50m背泳ぎ
- 50mバタフライ
- 50m平泳ぎ
- 200mフリーリレー

○水球

< 総会次第 >

○総会の部（16:00～）

- 1 平成12年度報告
（活動報告、会計報告）
- 2 平成13年度の活動
（活動方針、予算案）
- 3 現役活動報告
- 4 その他

○懇親会の部（17:00～）

- 1 現役紹介
- 2 OB紹介
- 3 現役表彰（スイマー・オブ・ザ・イヤー）



昨年の総会は、武野さんをはじめ、桑原さん、御園さん、その他懐かしい顔がそろいました。

人生のターン

葉泳会々長 川口俊治(1967年卒)

私事にわたって恐縮であるが、今春就職する次男が卒業の思い出にと3週間ほどモロッコの砂漠を放浪してきた。自分も35年前、リュックひとつで卒業の月に式根島に渡ったことを思い出す。水泳の仲間との青春に惜別したあとの一人旅に、青い海と白い砂、椿のこぼれる島の小生活は一生忘れることが出来ない。いつの間にか子どもが社会に巣立つ歳となったのを期に、にわかにな意を決して今度は夫婦で同じモロッコの砂漠の町々を彼の青春をたどって旅してきた。まだ老け込むのは早いし、ゴールの見えない人生は別にペースを測って生きるものでもないが、明らかに今までの行動をターンさせる必要があるそうだ。人生には何度かターンの時がきて、あるときは息つくひまもないクイックを決めなければならない局面もあるし、ゆっくりと大きくビートをシフトさせてゆくタイミングもあるように思う。

昨今は政治や経済の世界に次々とスキャンダルが噴出し、どうもそれは我々の世代を中核として暴き出されているようだ。青春の純粋な高揚を初期の「位置エネルギー」として社会にすべり出した人生は、年とともにそのエネルギーを消耗し、環境の変化に染まった異種のエネルギーを創出してゆく。卒業以来一心に働いているうちに自分も数々の間違いに狂奔する一員となったこともあり、こうした同僚を非難するわけにはゆかない。かろうじて後日の良識に大きく逸脱することがなかったのは、やはり多感な時代によき仲間とすごした水泳部生活の蓄えによるものが大きい。旅する車窓にたまにはこの純粋だった高い志をよみがえらせて、自分の仕事のなせる業を見つめなおしてみることは必要だ。ふりかえるに、自身の利益のためばかりでなく後の社会や家族の建設に情熱を燃やした日々は、後になって、どんなに苦しかったこともみな忘れてしまい、良い仲間を得てよい仕事をやり遂げたことのみが心に残ってゆくものだ。

自分が息子の年だったあの頃・・・オーストラリアにドーン・フレイザーという破天荒なスイマーがいた。東京オリンピックで来日した時は桜田門の濠に飛び込んで悠々と泳ぎ、逮捕されたエピソードもある。彼女が綴った「ドーン・フレイザーの告白」の中に若かった自らを映して、わけもなく激しく心を揺さぶられたものだった。フレイザーは女子100m自由形ではじめて1分の壁を破り、オリンピック3連覇の偉業をなしとげた歴史的ヒロインだったが、同時にその型にはまらぬ行動が常に物議をかもし、それがまた理解者を求める若い彼女の内心の葛藤となっていた。彼女は水の中に沈黙し、ただ一人ゆっくり流すコースラインに、孤独の安らぎと不確かな自身の放浪や、果てしない未来を見つめていたのだった。

タッチした自分の頭上を、息子は高く飛び込んでいった。
何度かターンして、フレイザーは何処に行ったか。



葉泳会の皆様へ

千葉大学体育会水泳部主将佐藤有平

現在、千葉大学体育会水泳部の主将をさせていただいている、佐藤有平と申します。今回、葉泳会報の発行にあたって、現役からも一言ほしいとのことでしたので、この場をお借りして現状報告をかねて、一言ご挨拶させていただきます。

現在、我が水泳部は、男子21人、女子11人の計31人で活動しております。今年度の新入部員は9人入部いたしました。部活に新しい風を吹き込んでくれております。先日行われました東部国公立におきましては、その新入部員の活躍もございました。男女ともに団体5位の成績をのこすことができました。その結果、無事に全国公の団体出場権を獲得し、出場選手は8月6日、7日の本番に向けて練習に励んでおります。残念ながら全国公の標準タイムを切れなかった選手も、8月30日、31日の関東甲信越大学体育大会をはじめとする大会に向けて精一杯努力を重ねております。これからが水泳シーズンの最盛期ですので、大会で上位を目指す選手から初心者まで、同じ部としての一体感を持ってがんばっていきたくと思います。何を隠そう僕自身、ほとんど初心者と変わらない状態で1年の後期に入部し、1年後には主将になっているわけですが、そういった初心者からインカレ選手まで一緒に分け隔てなく活動しているところが、千葉大水泳部のよい点であり、楽しいところだと思います。

今年は、東部国公立と関東甲信の主管校に千葉大学があたっており、東部ではレースだけでなく、大会運営にも、部員みんなで協力して、どうにか無事に終わらせることができました。関東甲信の運営では、葉泳会会員の皆様へもご協力をお願いすることもあろうかと思っております。お忙しいでしょうが、よろしく御願い致します。

昨年の10月に主将になって以来、様々な経験をしてきました。これだけの人数が集まり、しかもそれぞれに自分なりの考えを持った人間がひとつの部として活動するのをまとめるということの難しさを、身をもって体験しています。しかし、逆にいろいろな人が集まっているからこそ部活は楽しいものだと思います。そして、そのある意味ばらばらな人たちがひとつになることの楽しさ、それを一番感じることができるのが主将という立場なのだと思います。大学生活という人生の土台となる時期にこのような貴重な経験をしたことを、これからの人生にも生かしていきたいと考えています。また、きっと生きるものと確信しております。これからシーズン真っ盛り、後2ヵ月もない主将の期間ですが、まだまだたくさん新しい経験をするでしょう。それはきっと重要なものなのでしょうが、まずはできる限り楽しみたいと思います。そう、人生は「楽しい」ものではなく、「楽しむ」ものなのですから。



- 葉泳会の会報ありがとうございます。服部さん、鈴木さんの顔が（写真で）見られ、なつかしいです。（以下略）（S35卒・高柳）
- 60歳になりました。年を感じながら、ぼちぼち泳いでいます。（S39卒・平林）
- 卒業後27年。旅行の時は必ず水着をバッグに入れて、プールがあれば必ず泳ぐという習慣は続いています。（S49卒・堀）
- アフリカの地下水開発で村人の生命の水を探しに行っています。（S54卒・山貝）
- 一昨年設立したまちづくりNPOの代表となり、充実した日々（全くもうかりませんが）を送っています。（S56卒・小埜池）
- 今年度は教職20年となりました。ということは卒業して20年もたつのだなあとしみじみ思ってしまう今日この頃です。（S57年卒・塚本）
- 香川県に高校教師として出向いてから、13年も経ちました。一度でいいから千葉大の50mプールで泳ぎたいです。今年は猛暑で水温も高くて大変ですが、練習に励んでください。（S62卒・市村）
- 12月に第2子を出産する予定です。ダイエットは2人目を生んだら始めようと1人目を生んだときからずっと思っているのですけど……（H2卒・小川）

- 土気小学校で6年生の担任をしています。スポーツクラブには時々行きますが、「アクアビクス」専門です。（H6卒・岡田）
- 7月に行われたジャパンマスターズで200FLYで5位入賞しました。タイムは全然遅いですが、ちょっとでも現役の頃に戻せるようになりたいと思っています。みなさんにお会いできるのを楽しみにしています。（H6卒・伊東）
- 相変わらず新婚ムードいっぱい毎日過ごしています！旧佐藤は専業主婦になりました。（H9卒・W榎本）
- 好摩小は夏休みの始まりが県内で一番早く、テレビ（もちろん岩手版）で放送されたほど。もちろん始業式も早く、8月17日から2学期スタートです。2年生のかわいい子供たちをおいて学校を休むわけにはいかないので、今年は残念ですが欠席させていただきます。（H11卒・小高）
- 入社して早4ヶ月。ようやく研修も終わり、上野新幹線第一運転所というところに配属されました。でも、まだまだ見習いです。海よりプールに多く出向くことを誓います。（H13卒・谷津）
- 毎日毎日、子供と一緒にプールで遊んでいます。最近、全然泳いでいないのでまたみなさんと一緒に練習したいです。（H13卒・千葉）
～平成13年度葉泳会戦出欠はがきより抜粋～

.. : * : " ☆ , , . : * : ' . * ★ : * , , ☆ . , 役員会だより .. : * : " ☆ , , . : * : ' . * ★ : * , , ☆ . ,

今年も役員会は2回開かれました。1回目は4月、2回目は5月というのが恒例になっており、2回目は現役主将と意見交換を行っています。4月に久しぶりに会うと、「早いな、もう1年経ったのか」というのが挨拶となっています。役員会は信濃町の飲み屋へ、というも恒例になりました。といっても、飲むのが目的の役員会ではありませんよ。議題の中心は、総会の開催と現役への援助策ですが、今年は将来につなげる大事な話もしましたので紹介します。

1 水泳部創部50周年事業について

水泳部1期生は、鈴木、服部、小山、柴田の4方ですが、いつの間にか創部半世紀を迎えようとしています。といっても、創部はいつだったっけ？というところで、服部さんに記憶の糸をたぐってもらったところ、服部さんが2年生の春に松戸地区で創部したとのこと。「服部さんが1959年卒業だから、1956年春が創部に違いない」「昔のことは服部さんたちしかわからないんだからそれでいいんじゃない」など、あ～だ、こ～だの議論があり、結局聡明な（だった？）役員たちの決断により、2006年を水泳部創部50周年とし、アニバーサリー総会を大々的に開催することになりました。

毎年会員から、総会の開催場所については東京でどうかとの意見が出ています。論点は、できるだけ多くの人が集まれるのはどこかということですが、葉泳会戦と別に開催すると若手の会員の出席が悪いのではないかと意見もあり、役員会の結論として、50周年は東京で行い、それまでは西千葉で開催することになりました。

50周年総会では具体的に何をやるかも議論となりましたが、企画は若手会員に任せること、数年かけて積立をすることだけ決まりました。葉泳会の会員の皆さん、会費の納入にご協力下さい。

2 現役支援金の確保について

現役活動費は、エントリー料、活動報告製本料、郵送料など、年100万円ほどかかっています。収入の多くは部費と葉泳会援助費で、葉泳会からの援助金は約50万円ほどです。葉泳会の収支はといいますと、年間50万円を少し超える会費収入があり、そのほとんどを、現役への援助と通信費にあてています。

葉泳会会費の納入状況は、12年度は126名から納めていただきましたが、13年度は90名に落ち込みました。一人あたりの納入額は約5千円で、複数口納入する会員のおかげで現役の支援が可能になっているといえます。2口以上の納入をしている会員に頼るのではなく、できるだけ多くの会員が会費を納入し、葉泳会全体で援助することが理想です。ことしは、関甲信が千葉で開かれますし、創部50周年に向けた積み立ても始まります。繰り返しますが、会員の皆さん、会費の納入にご協力下さい。なお、活動報告の有償化（1000円）も引き続き行いますので、最低3000円の納入をお願いします。（納入方法は裏面をご覧ください）

3 役員会組織の変更

役員会には代々の会長経験者が「役員」の立場で出席しています。役員会ではこれを改め、名称を「顧問」とし、引き続き役員会に出席していただくことに決定いたしました。この変更には会則の改正が必要ですので、14年度の総会で提案します。また、今年の卒業生からも新たに役員を推薦してもらうことにしました。

4 現役表彰の創設

各分野で活躍した現役を、葉泳会総会後の懇親会で、葉泳会会長名で表彰することにしました。

会費納入のお願い

会費は葉泳会の活動になくてはならないものです。現役の援助のためにも、会費の納入をお願いします。また、現役から送られてきた活動報告を今年も有償とします。会費の納入は以下に従ってお願いいたします。

1 納入金	
会費	1口2000円 (何口でも可)
活動報告代	1000円
合計	3000円

2 納入先

(1) 銀行振込の場合

受取人 千葉大学葉泳会
千葉興業銀行 千葉支店
普通預金 0187411

(2) 郵送の場合

(住所 略)
品川史彦 宛

葉泳会連絡網

服部 哲士	34年卒	鈴木 明
	35年卒	高柳 弘泰
	36年卒	塩沢 健児
今田 哲司	37年卒	都築 直樹
	38年卒	桑原 章輔
	39年卒	小竹 敏雄
鈴木 正雄	40年卒	田辺 和一
	41年卒	小管 昭
	42年卒	荻原 洋章
西本 好男	43年卒	深田 一弘
	44年卒	佐藤 弘
	45年卒	多田 昌宏
	46年卒	森田 恒世
	47年卒	鷹野 忠洋
	48年卒	谷口 徹
堀 理津子	49年卒	原田 忠禮
	50年卒	石崎 弘文
	51年卒	仲 徹
賀来 宏和	52年卒	大野 亮
	53年卒	大橋 泰久
長 博	54年卒	山貝 広海
	55年卒	常岡 誠
岩瀬 義行	56年卒	本多 信三
	57年卒	小沢 修
佐藤 知史	58年卒	岩瀬 義行
	59年卒	菊井 伸介
北村 伸哉	60年卒	濱 浩一
	61年卒	原田 文明
品川 史彦	62年卒	加藤 清一
	63年卒	品川 史彦
池内 義宏	元年卒	池内 義宏
	2年卒	後野 和弘
	3年卒	尾上 健二
	4年卒	池田 明
飯沼 卓也	5年卒	柏木健一郎
	6年卒	熊谷 正明
柏木健一郎	7年卒	岩佐 崇史
	8年卒	影井研一郎
林 新太郎	9年卒	池田 理
	10年卒	前島 順
金指 圭洋	11年卒	金指 圭洋
	12年卒	高橋 和也
	13年卒	渡邊 義弘
	14年卒	向井田崇史

※葉泳会の連絡は、上記の方をキーパーソンとして郵便・電話で行います。ご協力をお願いします。

葉泳会連絡先

会長	川口俊治 (略)
理事長	森田恒世 (略)
名簿係	鈴木正雄 (略)
会計	品川史彦 (略)

名簿記載事項の追加

転居の際は、名簿係までご連絡下さい。
Eメールアドレスをお持ちの場合も上記名簿係までメールでご連絡ください。

住所不明者

以下の方々の住所が不明です。
ご存じの方は名簿係までお知らせください。

卒年	会員 (敬称略)
36年	大崎
39年	佐藤, 安原
40年	水野
41年	田中
44年	川辺
51年	岡本, 田中
54年	目沢
58年	久住
59年	石山
60年	伊関, 白井
元年	沼田, 山崎
7年	古屋

千葉大水泳部ホームページ

現役部員がホームページを開設しています。
<http://www29.freeweb.ne.jp/sports/chibadai/index.htm>

～編集後記～

▼早いもので、三度(みたび)葉泳会通信編集の時期を迎えました。▼昨年の葉泳会は、久しぶりに先輩OBの方々に会うことができました。話を聞いたら、「昨年の葉泳会報に載せた集合写真に知っている人の顔が写っていたので来てみた」とのことでした。これを聞いて編集子は「ヨシ、ヤッタネ」とほくそ笑みしました。▼今年も、昨年の集合写真を掲載しました。久しぶりに会える顔が増えれば望外です。

☆ ☆ ☆ ☆

編集委員募集中!!



